第 24 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評コンチェルト C 部門

●審査員 A

アンサンブルの経験が少ないのが全体の傾向としてみられます。協奏曲に挑戦するにあたり、是非日頃からアンサンブルにも積極的に取り組んでみましょう。

●審査員 B

オーケストラパートをしっかりと分析しましょう。オーケストラの部分はそれほど厚みがないので、少しでもピアノとずれてしまうと聴こえてしまいます。一体感を感じられるかどうかの大部分はピアニストの力量にかかっています。オーケストラはいつも「少し遅れて音が鳴る」のです。カルテットと演奏するほうがやや複雑ではなくなりますが、いずれにしろオーケストラパートとは常に調和して弾けるように意識しましょう。また、カルテットと演奏するときは、左手をしっかりコントロールしましょう。チェロはオーケストラのようにバスラインをしっかり支えることができないので、補完しなければなりません。ソロの部分ではもっとルバートしてもよいですが、オーケストラと弾くときは好き勝手に弾くことはできません。コンチェルトは初期の作品ですので、軽やかな華やかさと名人芸的な(技巧的な)要素が必要です。力いっぱいに音を出そうと思わないでください。常に旋律と伴奏形の良いバランスを保持しましょう。抒情的な部分は、長く声楽的なフレーズと長い息が必要です。細かい音型の部分は、モーツァルトのオペラのフィオリトゥーラのように旋律的に。他の要素については、ショパンの全作品に当てはまります。良い解釈とは、音質に注意を払うこと、そしてイタリアのベルカント唱法やテクスチュアの明瞭さに由来する、誠実で自然かつ芸術的な表現から生み出されます。

●審査員 C

アジア大会での演奏、お疲れ様でした。この場で演奏できたことだけでも本当に素晴らしいことだと思います。コンチェルトを演奏する際のアドバイスとして、是非オーケストラパートも和声の関係やフレージングなどに特に気を配りながら、丁寧に読み込んでください。ショパンは当時の偉大な歌手たちから影響を受けていたわけですから、私たちももっとピアノで歌わなければなりません。

●審査員 D

- ・全体的な印象:皆さん非常に才能があり努力されていることが伝わってきましたが、解釈自体はニュートラルで、個性や感情に欠けていました。加えて、伴奏のほうが大きかったりと、ピアノとオーケストラのバランスも気になりました。
- ・ファイナリストの 6 名の皆さんへ:ショパンの音楽は心から生み出された言葉であり、どの傑作に込められたメッセージにも、それぞれ意味と力があるということを覚えておいてください。聴き手としては、そのメッセージを受け取り、心を動かされたいと思っています。本日の皆さんのメッセージは何だったでしょうか?

●審査員 E

- ・お客様の前でのステージ、そして solo とは違う共演の機会で、とても貴重な機会となったことと思います。この経験を今後の糧とし、さらなる皆さんの飛躍を期待しお祈りしています。
- ・ピアノのパートが「ソリストとしての役割か」「オケと共に音楽を作るのか」「伴奏している」のか、 正しく理解して、それを演奏に表現できるよう努力して下さい。
- ・オケのパートをよく勉強しましょう。演奏の際はオケパートを(特にソロを奏でる楽器がある時は) 全身でよく聴きあって音楽を感じて下さい。
- ・技術的にハードなセクションであっても、常に歌ってカンティレーナを忘れずに音楽すること。鍵盤 を深くとらえて美しいひびきを作り出したいですね。
- ・共に、ショパンの世界、ピアノの世界を追求してまいりましょう。

●審査員 F

多くの参加者がオケや室内楽と初めてアンサンブルされたと思います。今回は特に室内楽だったのでより繊細なアンサンブルが必要だったでしょう。その辺の経験の浅さがもろに出てしまった印象でした。勿論室内楽のフォローが完璧でなかったケースもありましたがソリストはどのような場合でも対応できる余裕と冷静さが求められます。またショパンのコンチェルトは2曲とも室内楽的な繊細な響きの中で室石のような美しいソロパートの魅力を発揮するように考えられております。フルオケと真っ向から張り合うようなラフマニノフやリストのコンチェルトとは発想自体が異なります。フルパワーで頑張りすぎるのは如何なものかと思います。特に2楽章は両曲ともショパンの書いた最も詩的で繊細でロマン溢れる作品なので一音一音慈しんで奏でて下さい。フィナーレはなかなか聴き応えのある演奏が多かったです。

●審査員 G

初めて弦楽四重奏と合わせオーケストラのサウンドとは違い、とまどった人も多いと思います。オーケストラでも指揮者により、予期しないタイミングが起こることもあるので、あらゆる場合に対処できるようなスキルを身に付けることです。